

事務事業名		歯科診療所運営事業			☒ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 地域医療体制の充実			☐ 単年度のみ		14	01	01	01	04
所属	根拠法令				☒ 単年度繰返 (開始 平成13 年度～)						
	部課名	生活福祉部国保年金課			☐ 期間限定複数年度						
	課長名	今野芳彦			【計画期間】						
	係名	越喜来診療所			年度 ～ 年度						
担当者	新田進			※全体計画欄の総投入量を記入		02	01	02	04	04	
		電話 44-2103									
		内線									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)											
むし歯、歯周疾患患者の診療、指導及び乳幼児、児童の定期健診等の保健事業を行い、この行為に伴う診療収入により歯科診療所を運営していくというのがこの事業の概要である。											
事業費の内容は、主なものとして人件費(歯科医師、歯科衛生士、嘱託歯科衛生士2名)と、その他、施設維持管理費(燃料費、光熱水費等)、診療用材料費、技工委託料、医療機器購入費がある。											
業務内容は、診療業務(月・水・金曜日9:00～17:00、火・木曜日10:00～18:30)、保健事業(乳幼児歯科健診、学童児童歯科健診等)が主なものである。											
全体計画(※期間限定複数年度のみ)											
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金									
		都道府県支出金									
		地方債									
		その他									
		一般財源									
		事業費計(A)	0								
		正規職員従事人数									
延べ業務時間											
人件費	人件費計(B)	0									
		トータルコスト(A)+(B)		0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
	名称	単位
	ア 診療日数	日
	イ	
ウ		
前年度実績(前年度に行った主な活動)		
本年度計画(本年度に計画している主な活動)		
前年度と同様		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	名称	単位
	カ 行政区域内人口	人
	キ	
ク		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
	名称	単位
	サ 延べ患者数	人
	シ むし歯がある児童の割合	%
ス		
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		
早期に適切な医療が受けられる。		

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円	17,041	6,976	11,723	10,000	10,000	10,000
			一般財源	千 円	26,244	36,922	34,825	35,000	35,000	35,000
	事業費計 (A)		千 円	43,285	43,898	46,548	45,000	45,000	45,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時 間	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	
		人件費計 (B)	千 円	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,200	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	58,485	59,098	61,748	60,200	60,200	60,200
⑤活動指標		ア	日	226	244	245	240	240	240	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	2,729	2,683	2,652	2,600	2,550	2,500	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	2,342	5,438	5,692	5,500	5,500	5,500	
		シ	%	63.0	62.0	61.0	60.0	60.0	60.0	
		ス								

事務事業ID	0308	事務事業名	歯科診療所運営事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
合併前の昭和47年5月1日から三陸町国保綾里病院に歯科診療施設を設置し、昭和50年6月30日まで診療が行われていたが、それ以降歯科医師の退職等から休止となっていた。その後地域歯科医療行政の充実を図るという町の方針から昭和55年5月1日から三陸町国保歯科診療所を新設した。その後合併により大船渡市に承継され、引き続き地域住民の医療の充実に努めている。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
対象者数(診療所利用患者)に変化はないが、保健事業実施により中学生生徒(小学生当時に保健事業の実施を受ける)のむし歯罹患率を県内他市と比較しても明らかに低下しており、その成果が見られる。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
住民サービスの向上を図る、そして住民ニーズに応えるべくして歯科診療所において週2回の夜間診療を実施しており、小中高生、就労者等の患者から好評を得ている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	地域の医療ニーズに応えるべくこの事務事業を推進し、成果(むし歯、歯周病予防)をあげることで、市民一人ひとりの健康づくりの一環として重要な役割を果たしている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	三陸地区はほかの医療機関(開業医等)の進出が困難なことから、市が実施主体とならなければ地域住民の歯科医療の確保と健康の保持増進を図ることが不可能であるため、関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	綾里地区において歯科医療機関は歯科診療所しかないため対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	延長診療の拡充、土曜診療を実施してほしいとの要望があるが、診療体制の問題、他の医療機関との関係があるため実施は難しい。現在は火、木曜日が午後6時半まで受付しており、会社勤めの患者などへ対応するよう努力している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	市内には多数の歯科開業医があるが三陸地域には越喜来に1箇所だけである。(診療圏は越喜来、吉浜)こういった中で綾里地区にある歯科診療所(へき地診療所に位置づけ)は地域住民の歯科医療の確保と健康保持増進に重要な役割を果たしており、廃止となった場合、年間約5000人の延べ患者は大船渡地区へ受診しなければならなくなるが、患者の大半は中高年齢層であり、移動手段等から受診が困難となることが懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	上記⑤に述べるとおり他の事業との統廃合は困難である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	事業費の主なものは人件費、施設管理費(燃料費、光熱水費、医事会計システム賃借料等)、診療材料費、技工委託料であり、削減した場合、診療に支障をきたすこととなり、この事務事業による成果は低下することから、事業費の削減は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	現在の業務所要時間が最低限の所要時間である。所要時間を削減すると、診療時間に影響を及ぼすことになり、サービスの低下を招く。歯科医療は専門的な業務であることから、人員の削減などを行えば、医療現場での責任問題と医療事故の危険性が高まることから、削減するのは難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	患者窓口負担の割合が、国で定める診療報酬により全国均一で定められている。

事務事業ID	0308	事務事業名	歯科診療所運営事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	24年8月に復旧工事が完了し、震災前と同様の診療ができるようになった。 これにより、1日平均患者数は20～25人程度と、患者数は増加し安定した受診がみられた。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・今後も綾里地区における医療機関の進出が難しいと考えられるため、継続して事業実施していく。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	国保年金課長	今野芳彦

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	旧大船渡市の地域とのバランスを欠く面もあるが、必要な事業である。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
